



県ホームページ(置賜総合支庁: http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo)でもご覧頂けます。

平成30年2月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.156

置賜の雪まつり 2月は置賜各地で雪まつりが開催されます。3日から開催される「ながい雪灯り回廊まつり」(長井市)では手作りの雪灯りが街中に灯ります。41回目となる「上杉雪灯籠まつり」(米沢市)は東北中央道開通を記念し、10日から3日間開催されます。(地域産業経済課観光振興室)

特集

雪下ろしや除雪作業の安全対策は万全に！

平成30年1月19日～2月4日は雪害事故防止週間です

例年、この時期は降雪量が多く、雪による事故が増加します。事故原因で最も多いのは**雪下ろし作業中の屋根やはしごからの転落**で、雪害事故全体の約6割を占めており、年代別では**65歳以上の方**の比率が高くなっています。「低い屋根だから」「慣れているから」という油断、経験や体力への過信が大きな事故につながります。

除雪中の事故を防ぐために

1. 必ず2人以上で作業する

- * 家族や隣人に声をかけ、2人以上で作業する。
- * 携帯電話等、連絡できる端末を持って作業する。

2. 安全な雪下ろし作業のポイント

- | | |
|---------------|-----------|
| ① 安全で動きやすい服装 | ⑤ 使いやすい道具 |
| ② 屋根の雪の緩みに注意 | ⑥ 2人以上で作業 |
| ③ 命綱、ヘルメットを使用 | ⑦ 無理しない |
| ④ はしごはしっかり固定 | ⑧ 足場の確認 |

3. 除雪機使用時の安全対策

- * 安全装置の作動確認をする。
- * 作業中は絶対に周りに人を近づかせない。
- * 雪詰まりは、エンジンを止め、雪かき棒で取り除く。
- * 後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。

除雪中の事故の傾向について

- 一人で作業中の事故は、発見が遅れ、重大事故につながりやすい。
- 重大事故の大半は高所からの転落によるもの。
- 屋根の上よりも、はしごの昇降や屋根に移るときに事故が発生している。

除雪作業中の事故 主なケースと原因



☎総務課防災安全室 0238-26-6007

トピックス 地域アドバイザー懇談会を開催

☎総務課連携支援室 0238-26-6020

1月9日に、置賜総合支庁本庁舎において、地域アドバイザー懇談会(置賜地域)を開催しました。

この懇談会は、吉村知事が座長となり、各分野の有識者、実践者などアドバイザーの皆様から意見をお聴きし、施策に反映していくことを目的に開催しており、今年度で5年目を迎えました。

今回は「山形県の発展について～特に、山形県の発信について～」をテーマに、置賜地域から10名のアドバイザーが

出席し、意見交換を行いました。アドバイザーからは「他県との差別化を図るため、山形ならではの様々なマイナーなものをおりまぜて、発信してはどうか」、「道の駅米沢は、置賜の市町が支えあい、一緒になって情報発信をしていく必要がある」などの意見がありました。

知事からは「山形県の価値を今後も、ますます高めていく必要があり、今後の施策を検討する中で活用、反映させていただきたい」との言葉がありました。





車内の様子

1月13日に、フラワー長井線の食堂車の中でプレミアムワインの飲み比べを楽しむ「ワイン列車」が南陽市内の4つのワイナリー(大浦葡萄酒、佐藤ぶどう酒、酒井ワイナリー、須藤ぶどう酒)とコラボして運行されました。

当日は、4つのワイナリーのプレミアムワインのうち2種類(白・赤)とワインによく合うおつまみ御膳が振る舞われたほか、各社イチオシのワインがワイン樽で用意されました。

参加者の皆さんは、一面真っ白に広がる雪景色を走る列車に揺られな



ワイン樽

がら、ワインを片手に、方言ガイドやソムリエによるワインの解説に耳を傾けながら、置賜の美酒と美食を堪能していました。

この様子は、2月3日(土)午前9時25分～40分「やまがた旅の見聞録」(YBC山形放送)で放映されますのでぜひご覧ください。

**ワイン列車2017
運行内容**

- 運行 計3回(1～3月)
- 定員 40名(各回)
- 料金 3,900円(税込)
- 行程 赤湯駅出発～荒砥駅経由～赤湯駅到着
(往復 2時間20分)



■ 特典

- ・ワインに合うおつまみ御膳
- ・当日一日乗り放題切符



みなさんは「山形おきたま伝統野菜」をご存じですか。地元の伝統野菜でも、「詳しくは知らない」という方は意外と多いのではないのでしょうか。

そこで、このたび、伝統野菜をはじめ、保存食として地域に根付いてきた干し物や発酵食品などの伝統食材を「見て」「知って」「食べる」食事会、「あがやえフェア」(全3回)を企画しました。



伝統食材トーク(1回目)

1月21日に米沢市の上杉伯爵邸で開催した初回のフェアでは、里山ソムリエの黒田三佳氏をコーディネーターに、雪菜・遠山かぶの生産者である佐藤了氏、料理人の佐藤純氏、温泉旅館女将の遠藤央子氏をゲストに迎え、雪菜の栽培方法や調理のこつ、県外客からの関心の高さなどについてお話をうかがいました。その後の会食では、参加者同士意見を交わしながら伝統食材をふんだんに使った上杉松花堂弁当をいただきました。

その後、レストラン喜右エ門のオーナーシェフ我妻喜一氏から説明をうかがいながら、伝統野菜や干し物を使ったお料理をいただきました。

どちらの参加者からも「置賜の食材の素晴らしさをあらためて認識した」、「自分でも伝統食材を使ってみよう」といった声があり、地域の伝統食材や食文化への理解を深めていただくことができました。



干し物の戻し方講座(2回目)



上杉松花堂弁当(1回目)

1月30日には米沢市のレストラン喜右エ門で2回目のフェアを開催しました。前回に引き続き里山ソムリエの黒田三佳氏をコーディネーターに、料理人の石雅夫氏から干し物の戻し方などについて学びました。



鮎の寒風干しと雪菜のふすま漬のアーリオ・オーリオ(2回目)

街が面白くなる、アート企画のつくり方

展覧会

「置賜、昨日・今日・明日へつづく OTO (音)」開催!

置賜文化フォーラムでは、東北芸術工科大学の宮本武典准教授を講師に迎え、文化芸術活動の企画力向上をテーマとした講座「街が面白くなる、アート企画のつくり方」を実施し、その集大成となる展覧会「置賜、昨日・今日・明日へつづく OTO」を、米沢市のナセBA「よねざわ市民ギャラリー」を会場に、12月3日から10日まで開催しました。



前日に、企画会議メンバー総出で展覧会の設営を行い、初日は、イベント「ワークショップ参加メンバーによる解説リレートーク」で、置賜各地の「OTO」について、メンバーの思いをお話しました。

会期中は多くの方からご来場いただき、確かな手ごたえを感じる事が



できました。ご来場いただいた方々、ありがとうございました。

置賜文化フォーラムは、これからも、置賜地域の文化芸術活動やまちづくりに取り組む方々を応援していきます!

事業報告 「おきたま元気創造ラボ」最先行事業決定!

「おきたま元気創造ラボ」の第5回コアメンバー会議が、12月13日に開催されました。

会議では、これまでコアメンバーの方から検討いただいた、置賜を元気にするためのストーリーや、元気な姿を実現するために取り組む事業について改めて共有し、行動計画と最先行事業(今年度から優先して取り組む事業)を正式に決定しました。

最先行事業のうち、今年度は、「Yamagata Okitama Enjoy Snow Project」(置賜地域全体で雪灯りや雪像を作り、雪国の暮らしを楽しむきっかけを作る)について、メンバー全員で取り組むこととなりました。

具体的には、各市町で開催される雪祭りへの参加や、家庭・職場などで雪灯りなどを作る呼びかけを行うとともに、実際に雪灯籠などを地域の方々と一緒に作ることで、「雪を楽しむ」「暮らしを楽しむ」取組みに繋がっていきます。



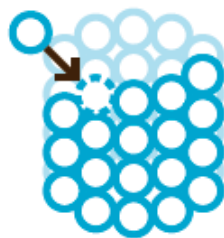
会議の状況



- STEP 1 雪のまつりを見に行こう!
- STEP 2 雪で灯りを作ってみよう!
- STEP 3 写真を撮って、発信しよう!

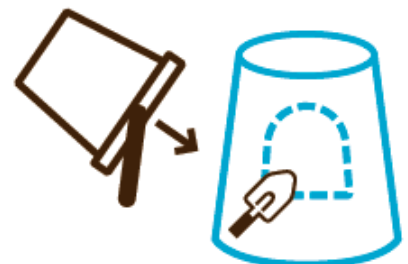
①雪のまつりを見に行こう! (各地で開催されるイベントを見に行こう)
2月3日に開催される「ながい雪灯り回廊まつり」(長井市)、2月10日に開催される「竹あかり×ゆき×祈り2018」(米沢市)におきたま元気創造ラボも参加します。

②雪で灯りを作ってみよう! (家や職場の前に雪灯りを作ってみよう)
スノーランタンのつくり方



タイプ1〈雪玉タイプ〉

雪玉を作って、積み上げて、中にろうそくを入れて点火!
風に強く、やわらかい灯りになります。



タイプ2〈バケツタイプ〉

バケツに雪を詰め、ひっくり返し、スコップなどで穴をあけてろうそくを入れます。

③写真を撮って、発信しよう! (ハッシュタグを使って、SNSで発信しよう)

作った雪灯りは、ハッシュタグ #okilabosnow を使って、SNSでどんどん発信しよう。



猫へのむやみな

エサやりで、
ご近所迷惑と
なっていませんか？



猫に対するあなたの優しいお気持ちは分かります。

しかし、ご近所に猫による糞尿などで迷惑がかかっていることにも目を向けてください。

また、むやみにエサをやってしまうと猫が集まり、仔猫が生まれ、次々と猫が増え、不幸な運命をたどる悪循環を招いていることもご理解ください。

猫のことを本当に思うなら、飼い猫として室内で飼ってあげてください。それができないのであれば、エサを与えることはやめましょう。

猫を飼う時の最低限の注意事項

- 避妊去勢手術**をする
不幸な猫を増やさないように努めてください。
- 糞尿の掃除**をする
猫の糞尿に限らず、周辺美化に努めてください。
- 置きエサ**はしない
食べ残しにカラスや害虫などが集まり、大変不衛生です。食べ終えた後は皿や水入れも片付けましょう。
- 周辺住民の理解**を得る
猫の好きな方・嫌いな方を問わず、お互いにコミュニケーションをしっかりとってください。

犬ねこの譲渡前講習会のご案内

この講習会は、置賜保健所が引取り等した犬やねこの譲渡を希望する方に受けていただくものです。

譲渡を希望しない方でも受講できますので、関心のある方は、ぜひ受講してください。

- 日時：毎月第3木曜日
午後2時から(約1時間)
- 場所：置賜地区動物愛護センター
(置賜保健所分庁舎
米沢市金池三丁目1-26)
- 事前に電話でお申し込みください。



知って得する情報 冬の省エネ・節電にチャレンジしよう！

地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のためには、一人ひとりの省エネ・節電の取組みが大切です。県では多くの方に省エネ・節電に簡単に取り組んでいただくため、「家庭のアクション」事業を実施しています。

冬は、暖房器具を使うことなどにより、エネルギー消費、特に電気使用量が多くなる季節です。生活の中でちょっとしたことに気をつけて、みんなで省エネにチャレンジしましょう。



家庭のアクション
「冬の省エネ・節電にチャレンジ」
実施中(～平成30年2月)

「冬の省エネ・節電にチャレンジ」のチラシは、総合支庁ロビーに設置しているほか、山形県地球温暖化防止活動推進センターのホームページ「家庭のアクション」からもダウンロードできます。

省エネ・節電の様々な取組みが掲載されており、取組みを報告された方の中から抽選で素敵な賞品が当たります。(詳しくはチラシをご覧ください。)

実践で省エネ県民運動・冬の省エネ県民運動
省エネ・再エネ・節電
平成29年度
家庭のアクション
冬の省エネ・節電にチャレンジ
実施期間 2017年11月～2018年2月

みんなで参加しよう!!
参加方法は簡単です!!

取組み状況を「見える化」しました!
県民省エネ節電所」稼働中!

COOL CHOICE(クール・チョイス)とは

保健だより アニサキス(寄生虫)による食中毒に注意!

アニサキスは寄生虫(線虫)の一種で、その幼虫はサバ、サンマ、カツオ、イナダ、イワシ、イカ、アジ等の魚介類に寄生します。

この幼虫が寄生する魚介類を生食すると幼虫が胃壁等に刺入し、耐えがたい腹痛などを引き起こします。

魚介類を生食用に調理する場合は十分に



胃粘膜に入り込んだアニサキス

症状

- 食後2～8時間後に、激しい腹痛、嘔気、嘔吐を起こします。
- 治療法は内視鏡による虫体の摘出以外にありません。

予防法

- ① 冷凍する。(－20℃で24時間以上冷凍すると死滅)
- ② 新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。内臓を生で食べない。
- ③ 目視で確認して、アニサキス幼虫を除去する。
- ④ 加熱する。(60℃では数秒で、70℃以上では瞬時に死滅)

※「酢じめ」等の調理やワサビなどの調味料では死滅しません。

保健だより mini

インフルエンザに注意しましょう！

インフルエンザは、突然の高熱とともに、関節痛、筋肉痛など全身症状が特徴で、のどの痛みや鼻水、咳などの症状も見られます。

予防

- 外出後の手洗い
- 適度な湿度の維持
- マスク着用
- 十分な栄養・休養
- 人ごみを避ける

かかったかなと思ったら

- 無理しない（休む）
- 早めに医療機関を受診（発症2日以内に治療薬）
- 咳エチケット

マメに手洗い マメにマスク

インフルエンザの予防には、「かからない」、「うつさない」という意識を持ち、日頃からの対策を心がけましょう。



☎生活衛生課 0238-22-3002

イベント情報

平成29年度 置賜文化フォーラム事業 「置賜こども芸術祭（演劇部門）」

川西町フレンドリープラザと共催で毎年開催している「置賜こども芸術祭（演劇部門）」。

置賜地区の3団体が一堂に会し、今年も開催します！

「落語」、「ミュージカル」などバラエティに富んだ名演技をぜひご覧ください。

- 日時：3月11日（日）午後2時開演
- 会場：川西町フレンドリープラザ
（川西町大字上小松1037-1 TEL0238-46-3311）
- 料金：無料（どなたでも自由にお入りいただけます）

☎総務課連携支援室 0238-26-6020



シリーズ

第3回

あい べ さ あいべ!

◆名刺入れ

（取扱い 本庁舎）

サイズ：7cm×11cm

上質な正絹素材の米沢織（紬）を使った名刺入れです。

芯地を入れて、張りのある質感に仕上げています。2カ所に収納できます。

税込 700円

色柄も、定番カラーの紺やグレーから春らしい明るめの色合いのものまで、豊富に取り揃えております。

専用ボックス付で、贈り物にもおすすめです。新年度に向けて、就職祝いなどにいかがでしょうか。



栄光園（就労継続支援 B 型事業所：米沢市）

栄光園では、工芸品や縫製製品の製作に取り組んでいます。作業は毎日コツコツとがんばっています。

米沢織製品のほか、コースター、ランチョンマット、鍋敷き、巾着など様々な商品を取り揃えていますので、ぜひご覧ください。



◆アクリルたわし（本庁舎）

かわいい「いちご」のアクリルたわし。毛糸の色を変えて「ぶどう」にも！ちょっとした油汚れなら洗剤を使わなくてもきれいになります。



税込 100円

☎地域保健福祉課 0238-26-6028

平成29年度 置賜文化ホール自主事業

伝国の杜オーケストラとあそぼう ～Family Concert～

米沢フィルハーモニー管弦楽団、米沢市内の大学生・高校生、一般公募の方々などで構成される「伝国の杜オーケストラ」によるファミリーコンサートが開催されます。

「オーケストラとあそぼう」と「音楽とあそぼう」の2部構成で行われ、小さなお子様も入場可能となっておりますので、ぜひご家族でご来場ください。

- 日時：3月4日（日）午後2時開演
- 会場：伝国の杜 置賜文化ホール
（米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-2666）
- 料金：全席自由 高校生以上 500円
中学生以下 無料（要整理券）
- 主催：（公財）米沢上杉文化振興財団



五人囃子の世界

日本の伝統芸能「能」の4つの楽器と謡1人で構成される「五人囃子」の演奏を聴いてみませんか。

当日は、春のお能である「西王母」と「鞍馬天狗」が様々な形で上演され、実際に能楽器に触れることができる体験コーナーもありますので、ぜひご来場ください。

- 日時：3月7日（水）午後6時30分開演
- 会場：伝国の杜 エントランスホール能舞台
（米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-2666）
- 料金：全席自由 1,000円（当日1,200円）
※5歳から入場できます。
- 主催：（公財）米沢上杉文化振興財団



☎総務課連携支援室 0238-26-6021

お知らせ

第2回フラワー長井線利用拡大シンポジウム

地域の重要な公共交通機関であるフラワー長井線の理解促進やマイレール意識醸成のため、昨年度に引き続き、フラワー長井線利用拡大シンポジウムを開催しますので、ぜひお越しください。



- 日時：3月17日(土) 午後3時～午後4時30分(予定)
- 会場：道の駅 川のみなと長井(長井市東町2-50)
- 主催：フラワー長井線利用拡大協議会
- 内容
 - パネルディスカッション
 - テーマ「沿線住民がフラワー長井線を利用するためには」
 - ※テーマは変更になる場合があります。
 - 会場展示(鉄道写真、山形鉄道グッズ等)



☎総務課連携支援室 0238-26-6021

就職面接会を開催します

はーるよらいはーやく来いし
参加企業 60社
2月15日木曜日

個別ブースで企業の担当者とは社でも面談ができます。
ブースでは事業や仕事の内容を聞くことができます。
また、就職に役立つ各種相談コーナーも設置しますので
当日参加企業の情報は就職に関するあらゆる相談が受けられます。

お仕事をお探しの貴方！就職のチャンス到来です。事前申込不要、入退場自由です。ぜひご参加ください。

- 日時：2月15日(木) 午後1時30分～午後4時
(受付開始 午後1時)
- 会場：グランドホクヨウ(米沢市金池2-3-7)
- 内容：企業の担当者との個別面談
就職に関する各種相談
- 参加対象者：就職先をお探しの方
- 参加企業：ハローワーク米沢管内に本社又は就業場所がある企業(約60社)
- 主催：ハローワーク米沢
- 共催：置賜地区雇用対策協議会等

☎ハローワーク米沢 0238-22-8155

PM2.5について

近年話題となっているPM(ピーエム)2.5は、県内では冬から春にかけて高くなる傾向にあります。



出典：米国環境保護庁

このPM2.5とは、大気中を浮遊している直径2.5マイクロメー

ル程の非常に小さな粒子で、物の燃焼等により生じるとされ、他に土壌や火山などの自然由来、大陸からの越境によるものがあります。

PM2.5は、非常に小さいことから多量に吸い込むことにより、呼吸器系や循環器系の疾患を引き起こすリスクが高まるといわれています。

県では、自動測定機を13箇所に設置し24時間体制で監視を行っており、濃度が高くなることが予想される場合は、報道機関や市町村役場を通じて注意喚起を行うことになっています。その際、県民のみなさんには、不要不急な外出を控えたり、屋外でのマスクの着用をお願いしています。特に呼吸器系や循環器系の疾患がある方、小児、高齢者は、体調に応じてより慎重な行動をお願いします。なお、情報は県ホームページでご覧いただけます。

山形県の環境大気常時監視測定結果

http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/053001/joho/kankyo_taiki.html

☎環境課 0238-26-6035

「心の健康づくり講演会」を開催します

予想外の出来事に遭遇してストレスを感じると、悲観的になり、問題を解決しづらい心の状態に追い込まれると言われています。認知や行動を変えることで、考え方のバランスをとり、ストレスにうまく対処できる心の状態を作っていくことが出来ます。ぜひこの機会に、考え方のコツについて学んでみませんか。



- 日時：3月5日(月) 午後3時～午後4時30分
- 内容：講演「こころのピンチをチャンスに変える！～認知と行動、考え方のコツを学ぼう～」
講師 山形さくら町病院 精神科医師 後藤剛氏
- 場所：置賜総合支庁 講堂
- 参加費：無料
- 申込み：3月1日(木)までにお電話(0238-22-3015)でお申込みください。

☎地域保健福祉課 0238-22-3015

発行元

置賜総合支庁 総務企画部
総務課 総務係

TEL 0238(26)6004
FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

皆さんは骨髄移植って知っていますか？
骨髄移植とは、白血病などの病気で、正常な血液が作られなくなった患者さんに、健康な方の造血幹細胞を輸注することにより、造血機能を回復させる治療法です。毎年新たに1万人が白血病などを発症しており、そのうち骨髄移植を必要とする患者さんは毎年2000人程います。骨髄移植が成功するためには、患者さんと骨髄提供者の白血球の型が一致しなければなりません。皆様の骨髄移植へのご理解とご協力をお願いします。(保健企画課)



日本骨髄バンク